

# つるおか芸文だより

## 「鶴岡市民芸術フェスタ2020」開催

### ― 伝統を引き継ぎ新しいステージを創る ―

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第15回鶴岡市芸術祭が開催中止となりました。

しかし、コロナ禍においても歩みをとめずに、芸術文化団体の発表の場を創出していきたいという思いから、「鶴岡市民芸術フェスタ2020」が、10月25日(日)に荘銀タクト

鶴岡において開催されました。

開会にあたり、主催者として鶴岡市芸術文化協会会長東山昭子、ご来賓を代表して鶴岡市長皆川治様よりご挨拶をいただきました。

「伝統を引き継ぎ新しいステージを創る」をテーマに掲げたフェスタには、申し込みの時点から予想を上回る反響があり、36団体・約500名の皆さまにご出演いただきました。どの団体も荘銀タクト鶴岡の大ホールで、力いっぱいエネルギーに満ち溢れたステージとなり、観客の皆様からは、「ありがとう、楽しかったー!」という声をいただきました。フェスタ当日は、感染症対策をとつての開催となりましたが、皆さまのご協力をいただきながら、盛況のうちを終了することができました。



やまがた月の山



錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部

多くの出演者が、コロナに負けず、共にステージに立てる喜びを分かち合い、感動を共有し、交流を深める機会となりました。

## フェスタに見た

### 感動の市民連携



特定非営利活動法人  
鶴岡市芸術文化協会

会長 東山 昭子

ワクチン接種にどうか希望をつなぎながら、コロナ禍はまだ終息の予測さえ立ちません。「新しい日常」に懸命の努力を重ね、市民は「今を生きる」ことに精一杯に奮闘し、力を貸し合い、生きている幸せに繋げようと懸命です。豪雪まで加わる厳しさです。

湧き出る清冽な泉が枯れることのないように、大地が芽吹くいのちを支えるように、芸文へ寄せる市民各位の懸命の希望を繋ごうと願って、「鶴岡市民芸術フェスタ2020」は開催されました。コロナ感染防止のため、申し訳ない程に様々の制限をお願いしました。その重圧を押しつけて結集し、喜びと感謝でつなぐ催事にして下さったのは老若男女、障がいの有無などを越えた多様な方々の熱い想いでした。一切を超えて心から芸術文化を支え・育て・創る市民各位の底力でした。出演を希望して下さりながら、「三密」を避けて裏方に回って下さった方々や、寒い場所でも一日中ボランティアとして励んで下さった方々もおいででした。厳しい状況を、お互いの知恵と敬愛の心で結集し、汗する共働で乗り越えて愛と美の感動を現実にし、未来への希望を確かにして下さいました。有難うございました。コロナ後の地域の活力を、この市民力で振興し、共にいのち輝く明日を呼び込みたいと願っています。限らない可能性への信頼を得ました。

## 市制施行15周年

### 特別表彰(教育・文化功勞)

鶴岡土曜会混声合唱団 常任指揮者  
特定非営利活動法人  
鶴岡市芸術文化協会 副会長

### 柿崎泰裕氏



多年にわたり教員として音楽指導を熱心に行い、鶴岡の合唱・器楽分野を全国レベルに向上させるとともに、鶴岡土曜会混声合唱団常任指揮者、鶴岡放送児童合唱団指揮者として、本市の音楽文化の振興、発展に貢献されました。



## 文化芸術の喜びと感動を共有した鶴岡市民芸術フェスタ

鶴岡市教育委員会教育長 布川 敦



新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの行事の開催が見送られ、例年素晴らしい公演や展示で賑わう鶴岡市芸術祭も、6月には中止が決まりました。

思うように活動ができない中で、東山会長から、芸術文化に関わる方々の意欲や活力の向上を願い、「鶴岡市民芸術フェスタ2020」の開催のご提案がありました。広く呼び掛けたところ、鶴岡市芸術文化協会加盟団体、非加盟団体あわせて36団体、500人余りが出演する大きなイベントとなりました。感染対策を講じての運営は多くのご苦労があったことと存じますが、当日の出演者と観客の皆様は喜びに溢

れており、文化芸術は私たちの心を豊かに、そして活力を与えてくれるものと再認識いたしました。世代やジャンルの垣根を越え、喜びと感動を共有する場を提供くださいましたことに、心から感謝申し上げます。

また、鶴岡市教育委員会では、皆様からの多大なるご協力のもと、「鶴岡市文化芸術推進基本計画」の策定を進めており、加えて、「荘銀タクト鶴岡」の春から、鶴岡市芸術文化協会と鶴岡市開発公社の共同企業体が運営することとなり、本市の文化芸術は新しい幕開けを迎えようとしております。文化芸術の持つ意義や価値が改めて見直されている時期において、皆様には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

## 「コロナ禍での挑戦！」



鶴岡市民芸術フェスタ2020  
舞台監督  
柿崎泰裕

「コロナ禍で鶴岡市芸術祭も中止になり、公演や発表会ができない人々に発表の場を設けられないか？」この東山会長の発案で協会は「芸術文化フェスタ」の開催に向けて踏み出した。

募集をかけると、予想を大きく上回る応募があり仰天した。多くの人が発表の場を渴望していたことがわかったが、そこからはどう感染対策をとって安全に運営できるかという難題への工夫と挑戦の日々となった。幸い、情熱と意欲あふれる事務局の岡田さんにタクトの軍司さんのトップのタッグがうまく回り計画が作られ、梅津委員長と実行委員、タクトスタッフのプロフェッショナルな働きがフェスタ開催を可能にしたと思う。

当日は、3部構成の観客入れ替え制のもと、出演者の理解と協力により、スムーズに進んだ。発表前の緊張感、演じている時の高揚感、終つての充実感がどの人にも表情に表れていたし、口々に感謝の言葉を頂いたことが嬉しかった。鶴岡市芸術文化協会は、表現を志す全ての人を支え、応援していることが参加してくれた人、観て頂いた人に伝わったのではないかと思う。コロナ禍でも芸術文化活動を止めない試みは新たな挑戦となった。全てのスタッフに感謝と労いを！

## フェスタアナウンス担当

羽黒高等学校アナウンス研究会

部長 今井祐花



アナウンス研究会のみなさん

芸術や文化のイベントに関われる機会はなかなかないので、今回の鶴岡市民芸術フェスタを終えて、改めて貴重な経験をさせていただいたと実感しています。今回のイベントでは、ステージを通して出演者の皆さんが伝えたい想いに応えられるようなアナウンスができるよう心がけました。また、舞台袖にいながら、人の想いのつながりを強く感じることができました。支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。



むらさき会



日本舞踊 千川流



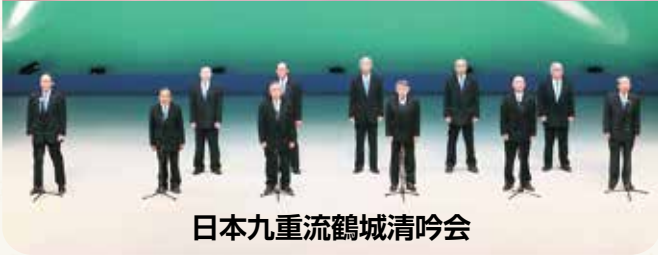
かたくり会



錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部



華の会



日本九重流鶴城清吟会

# 鶴岡市民 芸術フェスタ2020 第1部

琵琶・尺八・日本舞踊  
吟詠・民舞・民謡  
カラオケ

15団体



芸術フェスタに  
出演して

コロナ情勢が大変な中、当団体も予定の年間行事が全面中止の状態で、日常の練習も回数が増減し、目標のない練習に充実感がわかない状態でした。この現状で、公演発表の場を設定していただき深謝申し上げます。36団体もの多数が参加されて、舞台上では、いずれも真摯な姿にそれぞれ感動感謝が溢れていました。大会運営のため、スタッフ並びにボランティアの方々、1日という長丁場の支援があったからこそで、御礼一杯でした。  
(日本九重流鶴城清吟会 記)



丸山壽身



鶴岡竹友会



庄内なつメロ会



藤静会



羽黒町カラオケ同好会



櫛引カラオケ同好会



鶴岡カラオケサークル「心の会」



さゞ波会



湯田川大黒舞サークル



チアダンスクラブ Shooting★Stars



羽黒高校 North☆Stars



舞承連



やまがた月の山



Kickin' Dance Fam

困難なときほど  
皆が一つに。

鶴岡市民  
芸術フェスタ2020

# 第2部

チアダンス・よさこい・  
フラダンス・ダンス

9団体

(Kickin' Dance Fam 提供)

します。

の皆様にこの場を  
お借りして敬意を表  
演された全ての団体  
難しい状況の中、出  
重ねて、活動自体が  
心より感謝致します。  
及び関係者の皆様に  
尽力された実行委員  
開催にあたり、ご

ステージパフォー  
マンスは、皆が一つ  
になる貴重な瞬間で  
す。鶴岡市民芸術フ  
ェスタ2020は、  
コロナ禍という困難  
な状況だからこそ、  
年齢も性別も障害の  
有無も全てが違う市  
民がお互いを尊重し  
多様性を内包しなが  
ら醸成する芸術活動  
の在り方を示す場だ  
ったと感じています。



フラ・ハーラウ・オ・マカレア



上々連・黄金の舞



CHANNEL-i Dance Project



Dance Studio BEAT LINE





デザミ・アンティムと仲間たち



コール・アミ



Yoshitaka & Michio



カノン

鶴岡市民  
芸術フェスタ2020

# 第3部

演劇・声楽  
器楽・バンド演奏

12団体

## 満場の拍手を

まずはフェスタの企画運営に携われました事務局・スタッフの皆様にご感謝申し上げます。万全の感染対策の中、出演者が500名に近

い舞台を、遅延も混乱もなく成功に導かれたチームワークに、満場の拍手をお送りします。フェスタは、公演中止に代わる何かを模索していた団体にとって朗報でした。当方もこれを良い機会に、若い団員中心の舞台で臨みました。終了後開口一番「緊張したー」の言葉に、舞台上に立って喜びが滲んでいました。後日、脚本演出を担当した団員（高2女子）が鶴岡市防犯協会から表彰されるサプライズもあり、思いがけずよい経験をさせていただきました。ありがとうございました。

(劇団だいこん座記)



市民参加型ミュージカル実行委員会



ツルオカ・ミーティング・ジャズコンサート実行委員会



Acoustics



ギターグルーブ



ギターシンフォニア



岡部 繁



アンサンブル・チコーニア

作品展示を中心とした2020年ふじしまの芸術文化祭

ふじしま文化フェスティバル2020

作品展示・文化講演会・音楽祭

●10月9日～11月13日  
●藤島地区地域活動センターほか

今年度のふじしま文化フェスティバルは10月9日から約1か月間、次のようなイベントを開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、藤島芸術文化祭が中止となりました。東田川文化記念館において10月14日から11月29日にかけて開催された秋のアートウィークスに藤島芸術文化協会5団体より出展された全115作品が部門ごとに4つの期間に分けて展示され、多くの方々が足を運ばれました。また、藤島地区地域活動センターでは、荘内病院より講師をお招きし新



型コロナウイルス感染症に対しての心構えをご講演いただきました。11月7日には、第31回ふじしま音楽祭が無観客の中で開催されました。

参加した8団体の合唱や演奏をビデオ撮影するかたちとして行われ、各団体が練習の成果を精一杯発表しました。

(ふじしま文化フェスティバル  
実行委員会)

発表の機会を大切に

令和2年度 羽黒芸術文化祭

作品展示・芸能発表・囲碁・将棋・俳句大会

●10月31日～11月3日  
●羽黒体育館・羽黒コミセンほか

『羽黒芸術文化祭』が10月31日から11月3日までの日程で開催され、作品展示、芸能発表、囲碁・将棋・俳句大会が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年同時開催の「はぐろ秋まつり」は中止となりましたが、芸術文化祭は感染防止策を講じながら一部規模を縮小して開催しました。

展示部門では羽黒体

育館アリーナを会場に、書道・絵画・写真・手芸など1,173点の多彩な作品が展示されました。地域の保育園児や小中学生の作品もあり、親子連れなどにごわいました。



1日の芸能発表会は羽黒コミュニティセンターを会場に出演を羽黒芸術文化協会加盟団体に限定し10団体37名が参加、趣向を凝らした発表に観客は少なかつたものの会場は盛り上がりしました。

(羽黒芸術文化祭  
実行委員会)

臨機応変工夫を凝らした文化祭

第52回 くしびき文化祭

展示部門・まなびいステージ

●11月1日～15日  
●櫛引生涯学習センター

展示部門は保育園、小中学校、福祉施設、サークル等から出展していただき、11月1日から3日間開催されました。コロナウイルスの影響を受けながらも生花、つる編み、書道等櫛引の特色ある作品が多く展示され好評を博しました。また、榎本美芳さんの特別展示「綴れ織り」では、緻密に作られた美しい柄に、来場者は足を止め見入っていました。



発表部門であるまなびいステージは、11月15日に開催されました。今年度は無観客で収録を行い後日発表の様子をケーブルテレビで放送する形となりました。ギター、カラオケ、民謡、ダンス等出演者は日頃の練習の成果を出しきった様子でした。また、櫛引在住のプロサックスプレイヤー松本健一さんらによる特別出演では迫力ある演奏で櫛引の文化の秋を彩っていました。

(くしびき文化祭  
実行委員会)



今年度のあさひ産業文化まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開会行事、芸能発表、また屋外でのおまつり広場は残念ながら中止となり、作品展示のみ開催されました。

その作品展示部門では、書道、絵画、写真、俳句、川柳、生け花、手芸創作作品など、地域の皆さんの個性豊かな力作1,051点が展示され、大勢の方々が鑑賞されました。

新型コロナウイルス感染症対策として展示会場の出入り口を別にし、展示レイアウトも大幅に変更しました。



個性豊かな力作がいっぱい  
令和2年度 あさひ産業文化まつり

作品展示

●10月23日～11月3日  
●朝日中央コミセン

また、来場する方にはマスクの着用や手指の消毒をお願いし、間隔をあけてご覧いただくなど感染拡大防止に努めました。

このように新しいスタイルでの作品展示となりましたが、朝日地域の芸術の秋を大いに盛り上げ、会場を訪れた多くの方の目を楽しませていました。

(あさひ産業文化まつり  
実行委員会)



新型コロナウイルスの影響により様々な事業の中止が決定された今年度、温海文化祭も開催の判断を迷うところではありましたが、山形県沖地震により被災した温海ふれあいセンター多目的ホールの改修が完了したこともあり、感染防止対策を行いながらできる範囲で開催することを決めました。

10月23日から始まった展示部門では、温海地域内の幅広い年代から書道や絵画、陶芸など781点の作品が出品され、大勢の方から鑑賞いただきました。11月3日にはステージ発表

コロナに負けずに開催  
第37回 温海文化祭

作品展示・ステージ発表

●10月23日～11月3日  
●温海ふれあいセンター

が行われ、出演団体は例年より少なかったものの、9団体1個人より出演いただき、楽器演奏や踊りなどが披露されました。コロナ禍で発表の場が失われている中で、出演者にとっては日頃の活動の成果を発揮するよい機会となりました。

(温海文化祭実行委員会)



鶴岡市新型コロナウイルス感染症に関する対応方針について

新しい生活様式の徹底

- まめに手洗・手指消毒
- マスク着用
- こまめに換気
- 3密の回避(密集・密接・密閉)
- 検温測定・健康管理
- 身体的距離の確保

文化芸術振興のための市有施設の減免措置について

(一部抜粋)

1 対象事業及び対象施設

(1) 対象事業

- ①市民、市内の団体及び学校等が行う文化芸術活動で、次に掲げる事業
  - (ア) 教育活動としての合唱祭、学校祭、発表会、定期演奏会、演劇鑑賞会、音楽フェスティバル、コンクール
  - (イ) 市民の鑑賞に供する事業としてのチャリティーショー、公演
  - (ウ) 文化芸術活動の振興を図る発表会、演奏会、展示会、展覧会

(2) 対象施設

① 文化芸術施設 (6施設)

荘銀タクト鶴岡	中央公民館	鶴岡アートフォーラム
東田川文化記念館	櫛引生涯学習センター	温海ふれあいセンター

② その他施設 (3施設)

勤労者会館 (大ホール)	出羽庄内国際村 (国際村ホール)	庄内産業振興センター (マリカ市民ホール)
-----------------	---------------------	--------------------------

2 減免内容と減免割合

	施設使用料	備品使用料	施設冷暖房料
高校生以下	80%減額	80%減額	80%減額
その他一般	60%減額	60%減額	60%減額

3 期間

令和2年6月19日～令和3年9月30日

## 自主公演にみた芸文活動の輝き

コロナ禍においても、新しい生活様式、感染症対策を取りながら、日頃の成果を発表する機会を設けた加盟団体の自主公演および展覧会等について紹介します。

今後、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、文化芸術に触れる機会が、日常の中で多く訪れる事を願っています。



鶴岡市合同短歌会



鶴岡放送児童合唱団



鶴岡土曜会混声合唱団



ハウオリフラスタジオ



宝生流 観世流 合同謡曲大会



佳興の会



草月流山形県支部鶴岡地区



K・I・Y

### 自主公演・展示会開催一覧

公演・展示会名称	団体名	開催日	会場
鶴岡市合同短歌会主催 市民短歌色紙・短冊展	きたぐに短歌会 黄雞鶴岡歌会 稲京短歌会	10/24(土)~11/1(日)	トヨタカローラ ふれあいギャラリー
第41回 鶴岡書道会会員展	鶴岡書道会	12/3(木)~12/15(火)	致道博物館
K・I・Y三人展 vol.1	K・I・Y	11/14(土)~11/15(日)	アートフォーラム
宝生流 観世流 合同謡曲大会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	11/15(日)	東田川文化記念館
佳興の会 邦楽ライブ Vol.1~Vol.3	佳興の会	7/5(日)・10/18(日)・1/24(日)	庄内能楽館鶴岡教室
鶴岡土曜会混声合唱団 第69回 定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	11/28(土)	荘銀タクト鶴岡
「みんなの音楽会」 第74回 鶴岡放送児童合唱団 定期演奏会	鶴岡放送児童合唱団	11/8(日)	荘銀タクト鶴岡
ハウオリフラスタジオ 15周年記念公演	ハウオリフラスタジオ	11/1(日)	荘銀タクト鶴岡
エスモール 誕生祭迎え花展	草月流山形県支部鶴岡地区	10/23(金)~10/26(月)	エスモール





## タクト指定管理がスタート

令和3年4月から鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）の指定管理がいよいよ始まりです。「タクトつるおか共同企業体」（代表：鶴岡市開発公社、構成員：鶴岡市芸術文化協会）が指定管理者となり、指定期間は令和8年3月までの5年間で

当協会では、予てから文化会館の運営主体として関わっていくことを目指して、平成28年には特定非営利活動法人の認定を受け、組織としての基盤強化を図り、専門人材の確保と育成にも取り組んできました。平成29年度の開館準備から、今年度の共同企業体での管理運営支援業務受託までの4年間、タクト自主事業の企画運営、市民サポーター制度運用、貸館、広報活動などの支援業務を担いながら、ホール運営に関する専門的なノウハウの習熟やスキルアップに努めています。

また、昨年4月、共同企業体構成員で組織するタクトつるおか共同企業体運営調整会議を設置、オブザーバーとして市教育委員会からの出席も得て、タクトの管理運営業務についての情報共有、課題整理等、指定管理移行に向けた協議・調整を行っています。

荘銀タクト鶴岡がオープンして3年。芸術文化の交流拠点、まちづくりの拠点施設として、より一層市民から親しまれるホールを目指し、当協会は新たな運営主体の一役を担っていきます。会員の皆さんのご理解・ご協力をよろしく願います。

## 鶴岡市文化芸術推進基本計画について

鶴岡市教育委員会では、昨年度と今年度の2年をかけて、「鶴岡市文化芸術推進基本計画」の策定を進めています。「文化芸術」という言葉は策定根拠となる国の「文化芸術推進基本法」に基づきますが、対象範囲は音楽や美術、舞踊といった「芸術」だけでなく、人々の営みによって作り出されてきた、伝統文化や茶道や生け花、食文化といった生活文化、文化財、地域固有の民俗芸能や建築、まちなみなど多岐にわたります。

計画策定に向けては法の趣旨を踏まえ、関係の深い分野との連携が必要と考え、芸術文化協会をはじめ、教育や福祉、観光やまちづくり、文化財、建築、食文化などの専門家で組織する策定委員会で協議を重ねてきました。また、芸文協の皆様にも協力をいただき、芸術委員会や地域の芸術文化協会、音楽団体など幅広い団体とのグループワークを実施しました。加えて地域文化祭をはじめ様々な公演や展示の会場でアンケートを実施し、本市の文化芸術活動の現状と課題を把握しました。また、計画への関心を高めていくため、一般公開で東山会長をはじめ



芸術委員会の方々とグループワーク  
(令和1.12.6)



「つるおか文化部ミーティング」  
策定委員の方々の意見発表(令和2.11.24)

め策定委員の方々が自身の専門分野と文化芸術との関わりや展望について語っていただく「つるおか文化部ミーティング」を開催しました。このような作業を進める中で、過去から未来に向けて鶴岡の文化芸術を継承し発展させていくこと、次世代の育成、活動団体同士の協力や、文化芸術と関係の深い分野との更なる連携の必要性などが明らかになってきました。

計画ではこれらの視点を整理し、鶴岡市の施策と整合性を図りながら、市民一人ひとりが好きな文化芸術活動に出会い、続けることができ、その活動が他の分野にも貢献できることを示していきたいと考えています。この「鶴岡市文化芸術推進基本計画」は令和3年度に策定予定です。推進期間は令和3年度から5年間で予定しています。

（鶴岡市教育委員会社会教育課）

### 特定非営利活動法人

## 鶴岡市芸術文化協会への加盟のご案内

現在、鶴岡市芸術文化協会は「65団体（うち、5地域）」の加盟団体で構成されています。

鶴岡市の芸術文化活動の輪が、更に大きく広がることを望み、芸術・文化活動をされている団体の新規加盟を募集しています。

- ◆年会費（正会員）団体 5,000円
- ◆入会についてのお問合せは、下記事務局へご連絡ください。

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会事務局  
〒997-0346 鶴岡市上山添字文栄100番地 鶴岡市郷引庁舎内  
Tel・Fax : 0235-57-2008  
E-mail : tsurugeibun@tiara.ocn.ne.jp

<https://tsuruoka-geibun.or.jp>

トップ画面のQRコード



### 編集後記

コロナ禍で行われた「鶴岡市民芸術フェスタ2020」は多くの方々との御協力により、従来の市芸術祭とは違った形でステージ公演が行われ大きな成果を収めることができました。

鶴岡市では令和3年度をスタートとする「鶴岡市文化芸術推進基本計画」が策定される予定となっており、今後はこの基本計画の基に文化芸術活動を一層盛り上げるような活動が望まれることと思えます。

新年度からは念願としていた「荘銀タクト鶴岡」の指定管理者となり新たな役割を担うこととなります。

市民の皆様が愛される荘銀タクト鶴岡となることを願っております。（小林健郎）